本当に救急車が必要ですか？

「救急車の適正利用を」

救急出動件数は、年々増加しています。その中で、緊急性が低いのに出動を要請するケースも増え、本当に緊急性の高い傷病者への対応に支障が出かねない状況です。このため、大垣消防組合では適正な救急車の利用を呼びかけています。

大垣消防組合における**令和５年中の救急出動件数は１１,３３２件**で、前年と比べ３７３件増加しました。搬送人員は１０,７０９人で、そのうち**入院加療を必要としない軽症傷病者は5,２０１人で約５０％を占めています。**

１１９番の出動要請を受けると、管内の消防署所に配置した９台の救急隊のうち現場に最も近い隊が出動しますが、例えば出動要請が一定の地域に集中して救急車が出払ったような場合は、遠い所から駆けつけることになります。

出動要請の増加に交通混雑の影響も加わって、出動要請を受けてから現場到着までの時間は年々長くなっています。このため１分１秒を争う生命の危険がある傷病者を待たせてしまうような事態の発生を心配しています。

出動要請の中には、かすり傷程度で呼んだり、急を要する病気ではないが病院で早く診てもらうために呼ぶなどの、安易な要請の増加が目立ち、救急出動件数増加の大きな要因になっています。

尊い生命を救うために、救急車の適正な利用が必要です。

事故や病気で救急車以外に搬送の手段がなく、症状からみて緊急に病院に搬送しなければならない場合は、迷わずすぐに１１９番通報してください。

これ以外の場合は、１１９番通報する前に、＃７１１９の活用、自家用車やタクシー、民間救急車が利用できないか、今一度検討してみてください。

住民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。